

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2011年10月26日

派遣者氏名（専門分野）	伊藤一馬（東洋史学）
-------------	------------

派遣期間	2011年9月5日 ～ 2011年9月19日
------	------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
中華人民共和国	蘭州市・銀川市・ 海原県・固原市・ 西安市・北京市	甘肅省博物館・西夏博物館・西安碑林博物館・陝西省歴史博物館 天都寨址・平夏故城址・定川寨址・三川寨址・天聖寨址・高平寨址

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

○各地の博物館について

展示を観覧するだけなら、事前に必要な手続きはない。博物館によっては身分証（外国人の場合はパスポート）を提示すれば入館料が無料となることもある。また、博物館によって写真撮影の可否もまちまちであるので、撮影する場合はきちんと確認する必要がある。

○遺跡などについて

中国では各地の遺跡などは文物管理局などが管理しており、調査の際には管理元に申請するのが原則である。ただし、その調査を申請するためにとるべき手続きなどは、外国人がその手続きに必要な条件を満たすことは難しい。さらに、外国人が直接管理元にコンタクトをとろうとしても通常はなかなか反応がないか、あっても最終的には認められない場合が多い。一番よい方法は、中国の研究者（OVCプログラムであれば受入研究者）に一任して、申請し許可を得てもらうことである。

中国には膨大な数の遺跡がある。それらについては現在中国で刊行されている、各省ごとの『中国文物地図集』を参照するのが便利である。